神戸大学グリークラブ
令和２年度　　会報

神戸大学グリークラブ

神戸市灘区六甲台町 1-1

目次

ご挨拶

グリークラブ顧問　阪上　公博・・・・・3

正指揮者　和田　佳大・・・・・5

OB 担当　清水　蒼太・・・・・6

OB 様方からのご寄稿文

新 OB 代表　瀬上　和磨・・・・・7

『神戸大グリークラブ関西 OB 会の足跡について』　永井　哲郎・・・・・8

『入部４５年後の出来事』　武田　勝・・・・・10

現役活動報告　・・・・・12

寄付金の振込先・住所変更、お問い合わせについて　・・・・・15

２０２０年９月

神戸大学グリークラブ
OB のみなさま

ごあいさつ，近況報告，そしてお願い

拝啓，初秋の候みなさまにおかれましてはご健勝のことと存じ上げます.
平素は神戸大学グリークラブをご支援いただき，誠にありがとうございます.
ご承知の通り，本年度はコロナ禍のため，同窓会等も休会とのことで，ご挨拶申し上げるのがすっかり遅くなりましたが，略式ながら当団 HP 上で本文をもってご挨拶とさせていただく次第でございます.

〇ご挨拶とご報告
さて，昨年度のことになりますが，２０１９年１２月には伊丹アイフォニックホールにて，無事に第７１回定期演奏会を開催いたしました．ご支援くださいましてありがとうございました.

ステージの人数は少なかったとはいえ，団員諸君の熱意のある演奏で，例年に比べて決して聴きおとりのしない演奏ができたと思っております．小職自身もステージ側におりましたので客観的な評価はできませんが，客演の前田先生のピアノも併せて，聴きごたえがあったかと思います．一方では，リハーサルが長すぎて声が疲れたか，本番では若干演奏が荒い印象もあり，少人数であることを考えると，配慮すべきであるとの反省もありました.

〇近況のご報告
昨年度のご報告に続いては，今年度のことになりますが，コロナ禍のため目立った活動ができておりません．ここで，経過を少しご説明しておきたいと存じます.

２０２０年３月初旬，春合宿まであと数日というところで，突然，学務部課外活動支援課より連絡があり，「当面の間すべての活動を『自粛』するように」との指示を受けました．小職から確認しますと「ごく一部の例外を除き，基本的に『禁止』である」とのことで，春合宿のキャンセルを指示されました．その後，『自粛』は『禁止』と明言されるようになりましたが，違反する団体が現れ，「違反した場合は長期活動禁止とする」との罰則規定まで設けられました．これを受けて，当団では「団員が複数集まる活動はすべて停止」とし，この状態は７月まで続きました.

７月下旬から，学外施設を利用する場合に限り，活動計画を添えて申請し，本部委員会で審議のうえで許可されれば，活動を認めるとの通知があり，７月下旬および８月には，学外の施設を利用した練習などが再開されました．健康管理，衛生管理，施設ガイドラインの順守など，全日本合唱連盟の活動ガイドラインより厳しい対策を計画した結果，認められた次第です.

９月からは申請は不要となり，学外についてはこれまで許可された内容であれば可能となりました．さらに，１０月からは学内の一部の施設を利用することが可能となり，現在利用申請中です.

これが認められれば，１０月からは感染拡大防止対策（消毒，換気，健康管理等）を厳重に行ったうえで学内での練習が認められます（現在，審議結果待ちです.）

さて，このような状況で，やっとのことで少しずつ活動が再開されている状況です．禁止期間中は，有志個人単位でのリモート合唱などへの参加はありましたが，ジョイントコンサートも中止（リモート合唱で１曲だけ録音，公開されました）となり，顕著な実績はありません．活動再開が最大の目標という状態が続きました.

練習とは別の面で申しますと，大きな問題は，新入生の勧誘が認められていないことです．団員諸君が工夫して，SNS やネットを利用した勧誘は続けてきていますが，現時点では新入生を練習に参加させることが認められないようで，実質的な新入生勧誘の成果が出ていません．この点，新入生の活動への参加などについて，小職からも学務部へ申し入れをしていますが，本年度後期も「授業は原則オンライン」と決まりましたので，新入生が大学へ来る機会が少ないため難しいようです.（学生の入構は，前期と違って規制が緩和され，後期からは許可申請不要で入構はできます．しかし，対面形式での授業は，実習，実験の一部科目のみです.）

以上，本年度の現在までの事情と経緯をご説明申し上げました．７月下旬から練習が再開できたことは喜ばしいのですが，新入生が集められないこと，また OB のみなさまとの交流ができないなど，本年度については残念ながら「できないこと」が目立ってしまう状況ではあります．活動を継続するには資金が必要ですが，学外施設の利用が増えたため経費が掛かっており，また OB 会の際に例年いただいておりますご寄付についても，今年は OB のみなさまとお会いする機会もございません．学生の個人的生活についても，経済活動の低迷のためアルバイトがないなど，厳しい状況となっており，大学も困窮学生のための緊急募金をしておりますが，学生生活を続けるにも厳しいのが現状です.

〇お願い

さて，現在は厳しい条件のもとですが，練習を再開し，１２月の定期演奏会に向けて，何とか開催できるよう団員一同努力を続けております．しかしながら，上記に申し上げました通り，経済的には例年に比べて非常に厳しい状況でもあります．つきましては，この場を借りて，活動継続のためのご寄付のお願いを申し上げたく存じます．すでに，個別にご連絡をくださって寄付をいただいた方もございますが,改めてOBのみなさまにご援助いただきますようお願いいたします．金額等についてはお気持ちで結構でございますので，別項に記載の神戸大学グリークラブの口座まで，振り込みにてお願いできればと存じます.

本来でしたら，OB 会などでお目にかかった折に直接お話して，お願いしたいことばかりではございますが，この状況ではそれもかないません．どうぞご理解の上で，引き続きご支援ご協力いただきますよう，伏してお願い申し上げます.

敬具

神戸大学グリークラブ顧問・技術顧問
阪上公博（工学部教授，T82）

神戸大学グリークラブ正指揮者

経営学部　4 回生　和田佳大

2020 年度神戸大学グリークラブ正指揮者を務めさせていただいております、和田佳大です。

OB の皆様には常日頃よりあたたかなご支援を賜わり、心より感謝申し上げます。団員数が減少している今、OB の皆様の支援により十分な活動が実現しています。本当に感謝してもしきれません。

新型コロナウイルスの影響で 2020 年の大学の授業はほぼすべてオンラインになり、課外活動には厳しい制限が施されました。特に合唱という課外活動は飛沫防止の観点から活動するのは困難になりました。当団でも前期の練習はできず、対面での新歓活動は禁止、7 月に開催予定だったジョイントコンサートも中止になるという厳しい状況に置かれました。それでも、現役団員が神大グリーで音楽をやりたいと言ってくれたため、12 月の定期演奏会は無事開催する運びとなりました。4 回生の指揮者としてこれほど嬉しいことはありません。

さて、コロナ禍で大学の授業がオンラインになり、部活動も禁止されたことで必然的に一人の時間が多くなりました。今思えばこの時間も悪くなかったのかなと思います。一人の時間を利用して読書に耽ることもできるでしょう。心機一転、新しい音楽を始めることもできます。個人の感性を磨くにはこれ以上ない機会です。私は、コロナでの自粛期間を利用してエレキベースを始めてみました。理由は普段聞くロックバンドのベーシストが好きで、インターネットでその方の演奏動画を視聴しているうちに自分も始めたくなったからです。そして音楽を聴くうえでベースラインを辿ることが好きだからです。ベースというのは確かに地味かもしれませんが、とても奥の深い楽器だと思います。ギターのような華やかさには欠けますが、ギターがコードやソロをかっこよく弾いている間にコードのルートを支えるだけでなく、ドラムと一緒にリズムを形成するという、弦楽器でありながら打楽器要素も備えています。ギターと一緒にコードを作りながら、ドラムと一緒にリズムを作るその姿はまさに「バンドの中間管理職」といえるでしょう。もしくは、「バンドの影の指揮者」といえるかもしれません。このエレキベースを始めた経験が合唱にも活かせるのではないかと感じています。私は昨年副指揮者を務めさせていただきましたが、そのうえでオーケストラのような、重厚感がありながら、きれいで透明感のあるサウンド作りを目指してきました。そしてそのために古典的な音楽要素をバランスよく備えた多田武彦氏作曲の「柳河風俗詩」を演奏させていただきました。去年の演奏で少しでもオーケストラのようなサウンドを感じていただけたら幸いです。そしてエレキベースを始めたことで、クラシック音楽ではなく、ジャズやポップスのサウンドも神大グリーに取り入れたいと考えるようになりました。人間の声というのは汎用性が高く、可能性は無限大です。ボイスパーカッションのように声の打楽器要素を活かした音楽も存在します。今年の神大グリーではこのような「声の打楽器性」を活かしたいと考えています。今年の定期演奏会では、お越しいただいた方が演奏を聴きながら自然と首を振りたくなるようなビート感のある演奏を目指します。

最後になりますが、現役部員は少人数でありながら音楽に対して真摯に向き合っています。OB の皆様方には、今後ともご支援及びご教授の程、何卒よろしくお願いいたします。

神戸大学グリークラブ OB 担当

法学部　2 回生　清水蒼太

OB 様方におかれましては平素より神戸大学グリークラブへ格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。本年度 OB 担当を務めます清水蒼太と申します。至らない点が多々あると思いますが何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

本来ならば OB 会に参加させていただき、直接ご挨拶申し上げ会報をお渡ししたいところではございますが、このような状況でございますので今年度の会報についてはホームページ上に掲載するという運びになりました。冊子を印刷し郵送することも検討いたしましたが、財政が厳しくまた発送作業を行うことも困難なため断念いたしました。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

さて、大幅な生活様式の変化を引き起こした新型コロナウイルスですが、クラブの活動にも大きな影響を与えています。まず練習についてですが、全くできず 7 月のジョイントコンサートも中止せざるを得ませんでした。また例年、新入生を直接勧誘しほとんどの部員を獲得してきた新歓祭もオンラインでの開催となり、部員がブースを立ち上げライブ配信を行ったものの手ごたえは得られず、今年度は未だ一人も新入部員を獲得できていません。ただコロナウイルスに関係なく、昨今、合唱系の部活は人が集まらないのも事実です。特に女性に比べて男性はその傾向が顕著で、男声合唱団、混声合唱団を問わず、なかなか新入生が集まらないと聞きます。しかし、そのような状況のなかでも部として存続できるように新歓活動に力をさらに入れていく所存です。特に今年度は多くの新入生がまだどこの部活・サークルにも所属していないと聞いておりますので、来年 4 月の新歓祭では 1 回生・2 回生まとめて勧誘し、何とか多くの部員が集められればと考えております。

私は大学から合唱を始めた初心者で合唱は中学生以来でした。なので、周りの先輩方や音楽経験のある同級生についていくのに苦労することがありますが、様々なことを教えていただきながら試行錯誤を重ねる毎日です。特に私の場合は音感が悪く、練習においては同じパートの先輩に合わせるように歌うことしかできません。ほかのパートにつられることも多々あり、先輩方や同級生にサポートしてもらっています。そのおかげでこんな私でも歌うことの楽しさを感じながら、一つのものを作り上げる喜びを感じることができ、グリークラブに入ってよかったなと感じております。卒団するまで活動を継続できるよう精進してまいります。

最後に、今年度の会報の発行が大変遅くなってしまい申し訳ございません。またご寄稿いただきました OB の皆様、誠にありがとうございました。OB 様のご支援・ご協力のおかげで会報だけではなく、神戸大学グリークラブの様々な活動を行うことができます。改めて御礼申し上げます。今後とも変わらぬお付き合いのほど、よろしくお願いいたします。

新 OB 様代表

瀬上和磨

新 OB 代表として挨拶させていただきます、瀬川和磨と申します。昨年度は私を含め 5 人が卒団しましたが、進学などのため、新社会人は 0 人という稀有な代となりました。学問に限界はありませんので、近未来的には珍しくなくなるのかもしれません。

さて、私は現在、大学での専攻である物理の学習に加え、簿記の勉強を始めました。新型コロナウイルスによる不景気の波にそなえ、選択の幅を増やそうと考えた次第です。簿記を使う職に就くかは分かりませんが、人生の役に立つと信じて、"一歩"ずつ堅実に歩んでいく所存です。

私が神戸大学に入学した 2016 年に、クォーター制が始まりました。それまでは年間の授業を前期と後期に二分しておりましたが、その前期後期をさらに半分にして、1 クォーターから 4 クォーターという形で四分割されました。また今年は、オンライン会議アプリを用いた遠隔授業が推進されました。このように、私の代は、神戸大学の新たな"一歩"を身近に体験してきた学年です。もちろん、それに伴い苦労もしてきましたが、この経験を大事に心に留めておきたいと思います。

とはいえ大学生は、人生経験がまだまだ少ないです。社会の厳しさを知りません。それゆえ私も、OB の皆々様の色鮮やかな体験談に感銘を受けたこともたくさんありました。ありがとうございました。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

現役の皆さんにおかれましては、教務課より部活動規制があり、厳しい活動状況になってしまっていることでしょう。しかし今、自分のできることに"一歩"挑むことが、明日の自分への自信に繋がります。皆さんなりの"一歩"を見つけてみてください。今後とも皆さんの活動を応援しております。

神戸大グリークラブ関西 OB 会の足跡について　　２０２０．９
２０回生　永井　哲郎

本年(２０２０年)９月５日(土)、大阪凌霜倶楽部で第３８回関西 OB 会を開催予定のところ
コロナ感染防止の観点から、今回は残念ながら中止と決定。
開催すれば、まさに３密となり、コロナのクラスターが発生する恐れあり。
今は、感染しないのが一番、そのために感染の恐れのある会食・懇親会は見合わせることとする。
そこで、わかっている範囲で、今までの関西 OB 会の報告を兼ねて、歴史を振り返ってみたい。
順を追って

２０１９年９月７日(土)　第３７回　参加 OB　３１名　現役生　１３名
２０１８年９月１日(土)　第３６回　参加 OB　３５名　現役生　１４名
２０１７年９月２日(土)　第３５回　参加 OB　３６名　現役生　１５名
２０１６年９月３日(土)　第３４回　参加 OB　２８名　現役生　２９名
２０１５年９月５日(土)　第３３回　参加 OB　３７名　現役生　２６名
　第３３回から現役生全員を招待することになり、より一層交流が進んだ。

２０１４年９月６日(土) 第３２回　参加 OB　３９名　現役生　５名
２０１３年９月７日(土)　第３１回　参加 OB　３３名　現役生　５名
２０１２年９月１日(土) 第３０回　参加 OB　３３名　現役生　５名
　第３０回以降、幹事団は２０回生を中心に２１回生も含む。

２０１１年１１月１９日(土)　第２９回　参加 OB２０名　現役生４名
　第２９回は当初９月３日(土)(幻の第２８回)に開催予定のところ台風のために延期。
第２９回までは、１８回生の岡田登史彦さんを中心に、前田豊治さん、松浦敦さん、
森永正夫さん、徳重光彦さんが幹事団

２０１０年７月３１日(土)　第２７回　参加 OB　４０名　現役生　５名
２０１０年２月１０日(水)　第２６回　参加 OB　３３名　現役生　３名
　次回からは年１回，夏期の土曜日の昼間に設定することに決まる。

２００９年８月５日(水) 第２５回　参加 OB　３７名　現役生　４名
２００９年３月２日(月) 第２４回　参加 OB　４１名　現役生　４名
２００８年１０月　　第２３回　参加 OB４２名　　現役生　３名
これ以前は年２回開催。
　なお、２１回の会から４年間は１８回生が幹事で、それ以前は１７回生を中心に
１６回生が幹事団、それ以前は不明なるも、
関西 OB 会の初回、１９９７年(平成９年)の参加者名簿を添付。
発起人の一人である４回生の山本　稔さんからの情報。
　　幹事団の苦労話は下記。

１、毎回の案内では、メールアドレスのわかっている方にはメールで案内～１７０名程度
　　メールのない方には往復はがきで案内～１５０名程度…返信あるのはそのうち３０名
　　住所不明で返送されるのが１５名程度
　　まったく返信のないのが１００名程度

２、このデータを住所録や名簿に反映して次回の案内に利用する
この作業が面倒であり、反映漏れがあると、翌年お叱りを受けることたびたび。
３、幹事を担当してからは、ほとんど六甲男声合唱団メンバーが参加者の過半数を占める
それ以前もやはり六甲男声メンバーが OB 会の中心メンバーのようだ
４、返信されない OB の方が多数。これには困った。せめて返信だけでもしていただきたい
５、OB 数は１，０００名近くにはなるのではないか。東京と関西の連携で
グリーOB 会の組織化も検討の余地があるのでは
６、東京では毎年６月に OB 会開催、関西は毎年９月開催、相互交流を図るのが近道か。
７、現役グリーメンバーが少なくなっており、経費の面でも大変苦労しているようで、
OB 会としても、協力をしたい。毎回の OB 会での寄付の依頼や、六甲男声合唱団
の練習での寄付の依頼やジョイント演奏会や定期演奏会の PR とチケットの配布等
協力は続ける。
８、現役生には六甲男声合唱団の演奏会にも、裏方として人員を派遣してもらっており
大変助かっている．今後とも支援をいただきたい。

第10回

97年9月1日 神戸大学グリークラブ 関西OB会出席者名簿

項番	回生	氏名	回生	氏名	回生	氏名
1	学９	山崎　勲	Ｔ５	松居　道昭	Ｅ２５	板敷　勝
2	学２０	増谷　豊	Ｔ５	丹下　豊吉	Ｅ２６	北条　淳
3	学２１	柚花　昭	Ｅ６	松岡　茂雄	Ｊ２６	足立　悟
4	学２２	山本　幸雄	Ｊ６	絹笠　吉弘	Ｔ２６	西本　憲生
5	学２２	滝川　辰雄	Ｂ７	寺井　洋一	Ｐ２８	菊本　俊一
6	学２２	石井　義章	Ｅ７	加福　共之	Ｅ２８	松尾　誠司
7	Ｂ１	森田　広	Ｅ８	菅原　啓之	８１Ｊ	柏木　将男
8	Ｅ１	重松　昭春	Ｊ８	永岡　昇司	８５ＢⅡ	土田　裕之
9	Ｂ２	赤司　健	Ｐ８	田中　安夫	８６Ｊ	増田　嘉信
10	Ｂ２	千足　隆昭	Ｅ９	渡辺　政雄	８７Ｂ	米村　壮和
11	Ｂ２	辰馬　市朗	Ｊ９	肥塚　禎夫	８７Ｔ	大江　慎一
12	Ｂ２	浮田　順一	Ｂ１１	金井　孝憲	８７Ｓ	佐々木　英洋
13	Ｂ２	鷲尾　隆三	Ｂ１１	宗像　正幸	８８Ｂ	河合　孝康
14	Ｅ２	伊原　吉之助	Ｅ１１	藤沢　隆博	９０Ｓ	黒島　敬博
15	Ｂ３	浅野　洋	Ｊ１２	加藤　雅夫	９３Ｊ	山岡　達弥
16	Ｅ３	三島　祥宏	Ｂ１３	岡澤　徹		
17	Ｊ４	松村　恭一	Ｂ１５	川本　昭男		
18	Ｂ４	辛木　行夫	Ｂ１５	谷　武幸		
19	Ｂ４	佐藤　伸哉	Ｅ１５	川島　国暉		
20	Ｂ４	山本　稔	Ｂ１６	吉田　栄作		
21	Ｂ４	正井　春吾	Ｂ１７	堀　公彦		
22	Ｅ４	土屋　誠之	Ｂ１８	徳重　光彦		
23	Ｅ４	吉高　信	Ｂ２１	若林　成幸		
24	Ｊ５	福本　哲也	Ｂ２３	樽井　仁孝		
25	Ｌ５	永田　良	Ｅ２３	上田　孝		

グリークラブ入部４５年後の出来事

Ｅ２６回　　武田　勝

昭和４９年神戸大学へ入学、すぐにグリークラブに入部しました。
上級生３０名で、新１年生を２０名入部により５０名にするという部の方針で、
合唱経験者２名、未経験者１８名が集まった。入部勧誘作戦が功を奏したようです。
私は中高と吹奏楽でしたが、大学では合唱をやろうと思い入部しました。
聞けば４年前に部員が激減し１０数名に。復活を目指した時代でした。
６月に東京で演奏会があるということで３か月間の猛練習。
前年に旧三商大演奏会が中止、一橋との第一回ジョイントコンサートです。
東京駅ホームでのエール交換。代々木オリンピックセンターでの合同合宿。
日経ホールでの演奏会。中村茂隆先生の「風の中で歌う空っぽの子守歌」、
合同ステージは「四つの仕事歌」。緊張の中、無我夢中で歌い、自己満足ですが
感激、感動しました。
夏合宿（信州）、定演前合宿を経て定期演奏会を神戸文化ホールで開催。
「ラマンチャの男」「きつねとかわうそ」「ＳＥＡ　ＳＨＡＮＴＩＥＳ」「風の中で歌う空っぽの子守歌」の４ステージです。部員は４８名でした。

（昨年、４５年ぶりにＣＤで聴きました。声が若々しく、なかなか上手い、感激でした。）

そして２年、３年、４年それぞれに思い出がありますが、グリークラブ中心の学生生活でした。
部員も６０数名までになり、目標の「復活」がかなったのかなと思います。
そして２年後は８０名の大所帯になり、しばらく継続されました。

同期２０名は卒業時には１６名になりました。
卒業後、結婚式で毎年のように会い、歌い。それが一段落すると徐々に疎遠になっていきました。
２０１０年に同期Ａ君の突然の訃報により、８名が参集。それ以降、２，３年ごとに
神戸、東京で懇親会が同期の枠を少し拡大して開かれることになりました。
グリー仲間は人生の友だ。会えば学生時代に戻れる、そして愛唱歌をみんなで歌えばさらに至

福の時だ。としみじみ思えるようになりました。

合唱は、東京で独身の時、昭和５７年～６１年に日本フィル協会合唱団に入り、
第九とミサを歌いました。
しかし、転勤、結婚、子育て、仕事。徐々に合唱から離れていってしまいました。

ある日ひょんなことから東京六甲男声合唱団に入団し合唱を再開することになったのです。それは、2018 年８月、銀座のカラオケスナック、カウンター６席の小さなお店で、一橋コールメルクール卒の方にばったり会いました。なんと第一回ジョイントコンサートで共演している方でした。定年後には漠然と合唱を再開するつもりだと話すと、東京六甲男声合唱団へ情報が入り、あっという間に入団の運びとなったのです。

毎週１回の練習で徐々に声も出るようになり、学生時代より周りをよく見られるようになったのかもしれません。楽しく歌っております。
２０１９年１０月旧三商大ＯＢ合唱演奏会が神戸文化ホールで開催され、ステージに立ちました。
合同曲は「ラマンチャの男」、４５年前と同じホールで同じ歌を歌えるなんて夢みたいな話です。
演奏会には「ラマンチャの男」を歌った１４名が全国から駆けつけてくれました。
また、東京では後日、ラマンチャ同窓会を８名で開催、当時のピアノ伴奏者も参加して楽しく、懐かしいひと時でした。

ＯＢの皆さん、現役の演奏会、ＯＢ合唱団（神戸、東京）の演奏会に、声かけあって出かけましょう。各学年の幹事役の方、演奏会を聴いた後、夜の飲み会の計画を立てて見てください。特に１９８０年代の部員８０名だった時代の方、50～60 代になるかと思いますが、久しぶりに集まってみてください。学生時代のいろいろな思い出が蘇ってきます。愛唱歌を歌って下さい。合唱も楽しいですよ。

神戸大学グリークラブの４５年前の１年生が無我夢中で歌って、２年生、３年生、４年生、そして卒業しました。
そして、東京六甲男声合唱団の２年を経験し現在３年目、そして４年、５年、すっと長く継続していきたいと思います。それは楽しいから。

現役活動報告

昨年度も OB の皆様方に多大なるご支援・ご指導を賜りまして誠にありがとうございました。部員一同、厚く御礼申し上げます。

第 71 回定期演奏会

2019 年 12 月 15 日（土）に神戸大学グリークラブは、第 71 回定期演奏会を伊丹アイフォニックホールにて無事に開催できましたことを、この場でご報告させていただきます。たくさんのご来場、御礼申し上げます。

今回の定期演奏会は第 1 ステージにおいて、男声合唱組曲『柳河風俗詩』を演奏いたしました。この組曲は多田武彦氏の最初の合唱組曲で、発表から 50 年以上経つ今でも日本男声合唱界の代表作です。そのため様々な合唱団で演奏されており、どのように「神グリ」色を出すのか苦労しました。前期から練習を重ねてきており、後期の練習ではしばらくほかのステージに時間を取られ、なかなか練習できない時期が続いていましたが、少ない練習機会の中でさらに精度を磨き、本番では納得のいく演奏を披露できたのではないかと思います。

第 2 ステージは『オヤジの好きな歌を歌ってみました』と題し、「時代」や「サボテンの花」をはじめとした、計 5 曲を演奏いたしました。曲は私たち団員の親世代が好きそうなポップスということを基準に選ばれました。私たちにとって知っている曲もあれば知らない曲もあり、知っている曲は合唱曲ではこうアレンジされるのかと新鮮に感じ、知らなかった曲は今まで知らなかった名曲を知ることができ、どちらの意味でも楽しんで練習することができました。阪上公博先生を客演指揮、前田祐佳先生を客演ピアノに迎え、ポップスに寄せた歌い方ができるよう、ご指導いただきました。本番ではしっかりと歌い上げることができ、特に「ホームにて」はソロも含めて高い評価をいただきました。

第 3 ステージでは、阿部保作詞、湯山昭作曲の男声合唱とピアノのためのディアローグ『流氷のうた』を演奏いたしました。この曲集は雄大な大地広がる北海道をイメージしてつくられたもので、なんとかこの曲集の持つ魅力が引き出せるよう練習では苦労しました。難しい曲が多く、音取りやリズムもなかなか合わずこのまま完成まで持っていけるのかと不安に思った時期もありました。しかし本番では何とか形にはなったのではないかと思います。客演ピアノには第 2 ステージに引き続き、前田祐佳先生をお迎えし、演奏の完成度を上げるために様々なアドバイスを頂戴しました。

来場された方が感動されたかどうかはわかりませんが、わたしたちは練習の成果を出し切り満足のいく演奏会を作り上げることができたと自負しております。また多くの方に支えられて演奏会を開催できることを改めて実感いたしました。関係者の皆様、お客様への感謝の気持ちをもって、また来年の定期演奏会に向け邁進しようと決意いたしました。

第 71 回定期演奏会にて

Joint Concert 2019　夏!! 海!! そして港!! ~舞洲十郎と送る懐かしのポップス~

2019 年 7 月 14 日に東りいたみホール大ホールにて武庫川女子大学コーラス部、神戸大学混声合唱団エルデの方々と共にジョイントコンサートを開催いたしました。

第 1 ステージは我が団の単独ステージで男声合唱組曲『柳河風俗詩』を演奏いたしました。男声合唱らしい力強さを見せられたのではないかと思います。

第 4 ステージは合同ステージで「暑中お見舞い申し上げます」「ポートピア」「海　その愛」「青い珊瑚礁」「島人ぬ宝」「ふたりの愛ランド」を演奏いたしました。客演指揮に斉田好男先生、客演ピアノに平林陽先生をお迎えしただけでなく、河原田祐基先生にペルー発祥の打楽器であるカホンを演奏していただき、平林千恵先生に振付を担当していただきました。普段の男声合唱ではあまり出会わないような楽器と一緒に演奏したことはとても貴重な経験になりました。また、歌に合わせてダンスのある曲もあり、最初はなかなかぎこちなかったのですが練習を重ねるうちに他の団の方とも合わせられるようになりました。

普段の練習では経験できない他団との良い交流の機会となり、グリークラブの団員も刺激を受けさらに合唱に対する意欲が高まりました。

ジョイントコンサート　2019　合同ステージ

本年度は新型コロナウイルスでオンライン授業が導入されたことにより、大学に通うことができず新入生を勧誘できないばかりか、練習もできない日々が続いておりました。しかしそのような中でも練習を再開し、定期演奏会の開催をあきらめず準備してまいりましたことは、必ず来年度以降の活動にも生きてくるのではないかと存じます。メンバー数が減りかなり厳しい状況ではございますが、伝統ある神戸大学グリークラブを存続できるよう部員一同、精一杯努力する所存です。

今後とも OB の皆様方には、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

寄付金の振込先

会報をご一覧頂き誠にありがとうございます。会報を発行し始めてから今年で 7 年目となり、毎年より良くしようと試行錯誤して作成しております。今後も、より良い会報を作成するために努力して参りますが、部員だけでは限界があるとも感じます

OB 様方から何か御意見等がございましたら葉書か OB 担当宛にメール等でご連絡頂けると大変嬉しく思います。また、近年現役活動をより活発にしつつも経費削減を心掛けております。しかし、まだまだ努力不足のために学校の助成金や部費だけでは活動費がまかなえていません。どうか OB の皆様方に寄付金のご協力頂けますようお願い申し上げます。

神戸大学グリークラブ口座
三井住友銀行六甲支店
普通預金 口座番号 3093489
神戸大学グリークラブ

コンピューターで振り込みをされる場合は口座名を半角カタカナで「 ｼﾝﾀﾞｲｸﾞﾘｰ 」 として下さい。なお、「 ｰ 」は長音記号ではなくハイフンなのでご注意下さい。

住所変更,お問い合わせについて

お手数ですが、住所変更された場合はハガキまたは電子メールで「回生、御芳名、連絡先、現住所」をお知らせ下さい。なお、電子メールで行われる場合は、件名に「神戸大 学グリークラブ 住所変更届け」とお書き下さい。またお問い合わせに関しましては下記宛 先もしくはご用件ごとに各役職のアドレスまでご連絡下さい。宜しくお願い致します。

ハガキ

宛先　〒657-0013 神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学グリークラブ行

電子メール

ob.kobeunivglee@gmail.com	OB チーム
stage.kobeunivglee@gmail.com	ステージマネージャーチーム
liaison.kobeunivglee@gmail.com	渉外チーム
miscellaneous.kobeunivglee@gmail.com	渉内チーム
treasurer.kobeunivglee@gmail.com	会計チーム
publisher.kobeunivglee@gmail.com	編集チーム
web.kobeunivglee@gmail.com	WEB チーム
kobe_univ_glee@yahoo.co.jp	部長